

川崎競馬倶楽部

15th ANNIVERSARY

http://www.kawasakikeiba.com

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2006年4月号

クラシックに向けて翔け・川崎 STARS

牡馬 編

キングトルネード ＜八木仁厩舎＞



「スタート躓いたこと事がすべて」だった京浜盃。その後ネンザで頓挫したがすでに乗り込みを開始し羽田盃から始動予定。脚質自在手で対応力高い。

カネショウマリノス ＜照沼一二厩舎＞



鎌倉記念優勝の実績馬ながら、ニューイヤーカップ、しらす賞ではいずれも10着と足踏み状態。持ち前の瞬発力を生かしてそろそろ面目躍如。

モエレスターダム ＜八木正喜厩舎＞



南部駒賞勝ちを手土産に全日本2歳優駿後川崎へ移籍。緒戦こそ不発だったが末脚が身上。炸裂する日もそう遠くはない。

ゲームメーカー ＜高月賢一厩舎＞



2月の浦和戦では7馬身突き離す圧勝をおさめた実力派。メキメキ頭角をあらわし、しらす賞では直線一気の脚で3着。クラウンCでも台風の目。

ブルーカントリー ＜足立勝久厩舎＞



3月の浦和戦後、トモの関節を痛めてひと息入ったが早くも調教再開。来月の川崎開催から戦列に戻る予定。先行情力が武器。

今開催の川崎開催では羽田盃トライアル・クラウンカップが行われ、クラシックの足音がすぐそこまで近づいてきた。クラシックは5月10日羽田盃から、6月7日の東京ダービーさらには7月12日ジャパングートダービーへと挑み、牝馬クラシックは4月26日桜花賞、5月24日東京プリンセス賞、6月14日関東オークスへと駒を進める。

アジュディビルダー（放牧。2ヶ月の予定）、ロイヤルアブローズ（スクミが出て休養。半年の予定）、ヒロヤスキングオー（放牧へ）と、すでに戦線離脱する有力馬が出ているなか、川崎の選ばれし勇者たちはクラシックの大舞台でどんな活躍を残すことができるだろうか。

牝馬 編

アーペレーヌ ＜秋山重美厩舎＞



鮮やかな切れ脚を武器にして東京2歳優駿牝馬では着。狙いは桜花賞」と調整を重ねる有力牝馬の一頭。

エスプリメガミ ＜武井栄一厩舎＞



ユングフラウ賞では着し桜花賞の切符を手にした。持ち前の先行情力に加え、抑える競馬も習得中。

チェリームーン ＜佐々木仁厩舎＞



道営から移籍後7戦したうち4戦は中央遠征。着と健闘してきたがそこでの経験は南関東との対戦でも生かされる。

セイントハニー ＜福島幸三郎厩舎＞



出走取消後使われながら調子を上げ、斬れ脚に磨きをかけている。自己条件で賞金加算し大舞台へ。

トキノコジロー 安らかに・・・

コジローは逝ってしまった。

「いつもとなんら変わりなかった。むしろ手応えは良かったくらいだったのに・・・」と山田信大ジョッキーは唇を噛んだ。

4月12日大井競馬場マイルグランプリ。アジュディミツオーが27年ぶりのレコードタイムを刻んだその同じ舞台上でコジローはひっそりと最期の遂げた。

左第3中手骨骨折。さあこれから、さあこれからコジローの鬼脚が炸裂するかと思われた第3コーナー手前で悲劇は起きた。

「GでもGでもいい、もう一度中央に挑戦したい」コジローはまだ夢の途中だった。それは雪辱を期したい陣営の悲願であった。

鎌倉記念で頭角をあらわし、ひとまくりで決めた羽田盃。爆発的な末脚に魅せられたファンも多いことだろう。しかし、それ



＜生涯成績 15戦6勝。鎌倉記念・羽田盃優勝＞



はまた両刃の剣。実力発揮の場を与えられない展開に泣くことも多かった。

盛岡遠征から中央移籍。そして再び川崎へ。

鮮やかに復活のノロシをあげた霜月特別、多摩川オープン。

「すべてはこれからだった・・・」坂下厩務員は言葉を重ねた。

主な馬房にはファンからたくさんの花束や別れの言葉が手向けられている。

稀代の個性派トキノコジロー、君のことは忘れない・・・

甲斐年光ジョッキー引退

甲斐年光騎手が3月31日第9レースでの騎乗を最後に引退しました。1992年6月22日のデビューから2,734戦235勝。ビービーバーニングとのコンビで03ローレル賞、東京2歳優駿牝馬を制しています。



「騎手を目指した中学生の頃から20年間ずっと減量との闘いでした。年齢と共に減量もきつくなり引退を決めました。今後は武井厩舎で厩務員として馬づくりを支えていきたいと思っております。応援ありがとうございました」



甲斐騎手より勝負服とサイン入りゴーグルのプレゼントがあります。詳細は川崎競馬倶楽部サイトをご覧ください。

川崎でがんばる兄弟

第3回ジェフォリーの子供たち

第3回はジェフォリーの子供たちをご紹介します。母ジェフォリーはアメリカで16戦3勝。ニジヤナS1着、ハリウッドオクス2着などの成績を残しています。産駒にはイシノサンデー、ロイヤルエンデバー、イシノラビドなどがいます。現在川崎に在籍しているジェフォリーの仔は2頭。武井榮一厩舎のイシノダンシング(牡6歳)、久保秀男厩舎のイシノゼフィルス(牡5歳)です。



イシノダンシング
牡6歳(父ダンシングブレーヴ)
武井榮一厩舎

<性格> おとなしく、どっしりしており手がつかないタイプ。食欲は旺盛なほう。好物は人参。
<レース> 先行の脚質。いい時と悪い時ははっきりしており、道悪、馬ごみ、砂をかぶるのが大の苦手。なので外枠発走の方がいい。ゲートも上手ではないため念のため尾持ちを

している。ひっかからないので折り合いに問題ないので距離はこなせる。
<その他(癖など)> グイッポ(物をかむ癖)なので上の前歯を抜いてある。(人かはかまない。)なので好物の人参はかたまりでなく細かくしてもらっている。隣の馬房にいるヴァイタルランプと仲良しでたまにお互い首を伸ばして遊ぶのが好き。



イシノゼフィルス
牡5歳(父プライアンズタイム)
久保秀男厩舎

<性格> かわいい顔をしているが性格は人をかむ癖がありかなり攻撃的なうえいたずら大好き。普段もレースでも非常にマイペースなタイプ。食いしん坊で特に人参が大好き。あげると指ごとがぶりついてしまうほど。
<レース> レース ゲート、スタートが苦

手なので前にいけないことが多いが先行のほうがよく。攻め馬は良く動くがレースは不器用な面が出てしまかなか自分のレースができないことが多い。レース中はズブい。まだ2戦しかしていないものの浦和との相性がよく負けなし。
<その他(癖など)> 乗り運動中に気に入った草や木があるとそっちに歩いていってしまう。

おつかれさま
平成18年3月退厩馬

佐々吉	コネコノオヒゲ	牝 3	兵庫県	転厩
足立	ブルーゴールド	牡 3	東京都	転厩
安池成	マンダリンチチ	牝 4	北海道	乗馬
照沼	ニットウシュリリー	牝 8	北海道	繁殖
山崎	スウィーブダンス	牝 5	群馬県	乗馬
足立	ヤマイチロマン	牡 3	埼玉県	廃用
内田	ミルウイニング	牡 5	岩手県	転厩
田島	ウェスタンウォーズ	セ 6	群馬県	乗馬
田島	ウェスタンフィリア	牝 3	茨城県	転厩
池田	スエヒロコンコルド	牡 6	兵庫県	転厩
長谷三	マルヨシロッチ	牡 4	栃木県	乗馬
河津	エースインザガール	牝 4	愛知県	転厩
河津	マイネルブラジリエ	牡 4	北海道	転厩
武井	ラブリージョウ	牝 3	群馬県	繁殖
伊藤	テンダイキング	牡 6	福島県	乗馬
河津	ゴールドンイースト	牡 9	東京都	転厩
村田六	キタサンスピリッツ	牡 3	神奈川県	廃用
大和明	ナントスエルタ	牝 5	山梨県	乗馬
照沼	カネショウフジ	牡 6	茨城県	乗馬
今井	オオイシアラレ	牝 4	岐阜県	転厩
秋山	コスモスイート	牝 4	神奈川県	廃用
秋山	ナカナカ	牡 4	神奈川県	廃用
稲垣	イブキプリズム	牝 5	福島県	乗馬
池田孝	ジョウテンデヒア	牡 5	神奈川県	乗馬
田邊	ジョウテンハウザン	牡 4	栃木県	乗馬
八木喜	ダイナショウジ	牝 3	栃木県	乗馬
足立	ブルーメルシー	牝 3	茨城県	乗馬
山田正	クロコマタイキ	牡 4	北海道	転厩
津久井	モエレドクター	牝 3	神奈川県	廃用

HAPPY BIRTHDAY 4月生まれ

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 皆川信之輔厩務員(1日) | 沖野耕二騎手(2日) | 榎智恵子厩務員(2日) |
| 米田弘一厩務員(2日) | 下村英雄厩務員(5日) | 新井健児厩務員(8日) |
| 木村良二厩務員(9日) | 三上慎太郎厩務員(11日) | 須藤俊明厩務員(12日) |
| 竹本和矢厩務員(12日) | 長谷川茂調教師(13日) | 横山努厩務員(14日) |
| 市村豊厩務員(15日) | 坂下光弘厩務員(17日) | 伊澤真厩務員(18日) |
| 佐藤利光厩務員(19日) | 林宏史厩務員(19日) | 齊藤美宣厩務員(20日) |
| 日名子武史厩務員(20日) | 柳田剛厩務員(22日) | 岩本洋調教師(23日) |
| 市川克厩務員(24日) | 森田祐介厩務員(24日) | 佐々木宗男厩務員(29日) |

米田 弘一 厩務員 <津久井 巖 厩舎>



『波乱万丈な騎手時代』・・・10年間の高崎での騎手生活をそう振り返った米田弘一厩務員。現在は津久井厩舎で厩務員として働いている。

出身は群馬県高崎市。向こう正面に我が家、第2コーナーには我が母校。競馬好きの父親に連れられて小学生のころから競馬場に行っていたというのだから、騎手になるのは自然な流れ

だった。10年間の騎手生活のあと、コックとして働くが腱鞘炎になりその道を断念。その後、鷹として働いている時に大井と浦和から“もう一度馬の世界に来ないか”とオファーがあり、浦和で厩務員として馬の世界にカムバック。その浦和では厩務員食堂でアルバイトをしながら攻め馬もこなすという異色のかけもちの経験もあった。しかし、厩舎に馬が少なくなったこともあり、いったん厩舎を出てもう一度鷹として働き出すが、またその時に知人から紹介され川崎の池田厩舎に。そして現在の津久井厩舎へ。

私生活では9月に元川崎女性騎手の戸川理彩さんと結婚、12月には長女・朱里(じゅり)ちゃんが産まれた。奥様の理彩さんのことを聞くと「しっかりやってくれているいい奥さんですよ。点数をつけるなら? 120点でしょう」と新婚ホヤホヤ。また、パパぶりも発揮。先日は米田厩務員自らがお風呂に入れてあげたそうで、思わずその瞬間を写メールでパシャリ。とにかく朱里ちゃんにメロメロのようで、目が下がりがっばなしだった。



同じ高崎で騎手として乗っていた妹の真由美さんは高崎時代に厩務員さんと結婚し、現在は2児の母となっているそうで、今でも連絡をとりあう仲だとか。



現在担当しているのはパワーラブ・ディアラブ・プレストの3頭。パワーラブは休養から戻って来たばかりだが、これからが楽しみな馬だそう。

騎手時代の得意の戦法は差し、追い込み。何に対しても逃げる事がダメと語るその性格からは、目立ちたがりやで人を喜ばせることが大好きな、サービス精神が旺盛という、まっすぐな人柄が伝わってきた。今年で33歳になり、公私共にますます充実している様子でとてもイキイキとしていた。

* staff room *

まさかこれが最期の勇姿だとは誰が思っただろう。調教を任されている島川厩務員は「川崎商業が横浜高校に挑むような気持ち」で送り出した。そしてコジローは砂塵に消えた。最期は痛みから解放させてあげることが先で、たてがみすら残っていないという。学生時代応援団だった坂下厩務員は「神宮球場で負けた以来だよ泣いたのは・・・」と言葉を飲んだ。しかしまた、新しい担当馬はやってくる。競馬にたずさわっている限り、喜びも、悲しみも尽きることはない。



あ

今回の兄妹馬企画はイシノダンシングとイシノゼフィルス。残念ながらイシノゼフィルスは北海道で春休み(休養)中でした。この兄弟、毛色、流星の形など似ていますが目がダンシングが小さめ、三白眼でクールな印象なのに比べゼフィルスはくるんと丸い愛らしい目をしていて、話を聞いてみたら性格はダンシングがやさしいどっしりとした優等生、ゼフィルスはいたずらっ子でとにかくやんちゃ。ちなみにお姉さんのイシノラビド(父プライアンズタイム)には先日ティンバーカントリーの牡馬が生まれたそうです。そして昨年引退した妹のプリオール(父ヘネシー)にはもうすぐあのエスプリシーズの子が産まれる予定だそうです。無事に生まれ2年後には両親の跡を継ぎ川崎の地で走ってくれると嬉しいですね。

楓

今開催はクラウンカップ。そして今月末は桜花賞。いよいよクラシック本番です。クラシックのレースで特に忘れられないのが昨年の羽田盃です。勝ち馬トキノコジローの鮮やかな勝ち方は今でも目に浮かびます。そんなコジローの悪夢のような突然の事故。悲しくて胸がいっぱいになってしまいました。それと同時に改めて競馬というのは命懸けの戦いなのだと思います。知らされました。まだ厩舎に行くと涼しい顔をしたコジローに会えそうな気がしてなりません。御冥福をお祈り申し上げます。

とら



パースデーに登場してもらった米田厩務員の趣味のひとつが手品だそうで、即興で持ちネタ(?)を見せてもらいました。「なにも準備してないから」と言いながら、1円玉が消えたり、1円玉が500円玉(しかも2枚!)になっちゃって羨ましい手品を披露してくれました(^.^) その手捌きはかなり慣れている様子でしたヨ。手先はもろちんのこと、何にでも対応できそうな器用な性格のようで、取材のときもこちらの質問にテキパキと応えてくれました。

梅